

ぐりとぐら

なかがわりえこ文、おおむらゆりこ絵 福音館書店 900円



のねずみのぐりとぐらはとてもなかよし。
お料理を食べることが大好きなふたりが、おおきなたまごをみつけました。
さあ何をつくるのでしょうか？



かいじゅうたちのいるところ

モーリス・センダック作、じんぐうてるお訳 富山房 1500円



ママにしかられて、マックスがたどりついたのは、黄色い目玉のかいじゅうたちのいるところ。
どんどんマックスの想像がふくらんで、絵本の画面も見開き一杯に！

三びきのやぎのがらがらどん

マーシャ・ブラウン絵、せたていじ訳 福音館書店 1200円



やぎのがらがらどんが、くりかえしトロルに立ちむかってゆく。
子どもたちは大好きです。

いっすんぼうし

いしいももこ文、あきのふく絵 福音館書店 1100円



いっすんぼうしは、からだは小さくとも、大きなぞみを抱いて旅立ちます。愛してくれる人たちに支えられ、勇気をもって道を切り開きました。童謡でも歌われているお話です。
やわらかで華やかな日本画で楽しみましょう。

てぶくろ

エウゲーニー・M・ラチョフ絵、うちだりさこ訳 福音館書店 1000円



雪の森に落ちているてぶくろ。
くいしんぼねずみに続き「私もいれて」と森の動物たちが次々とてぶくろの中へ。
てぶくろは、はじけそう。
テンポ良い語り口と動物たちの表情
が楽しい絵本。

ことばあそびうた



谷川俊太郎詩、瀬川康男絵 福音館書店 1000円

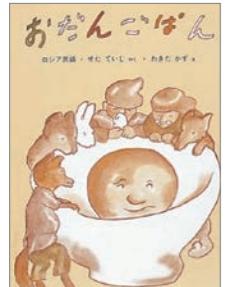


「かっぱかっぱらった
かっぱらっぱかっぱらった
とてちってた」

詩ってこんなに面白いの？ことばのリズム楽しいな。親子でぜひ声に出して読んでほしい本。

おだんごぱん

せたていじ訳、わきたかず絵 福音館書店 1200円



ある日、おばあさんがおだんごぱんをつくりました。
食べられるのがいやなおだんごぱんは、にげだしました！！

京都市図書館では、子どもの読書活動の推進について、関係団体の皆様と『子どもの読書活動推進のための懇談会』を設け、協議しています。

平成13年12月、「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定されたことを記念して、平成14年4月に子どものためのブックリスト「本のもり」を作成しました。

このリストには、図書館や書店・子ども文庫で出会ってほしい本を、各年代別に30冊選びました。このブックリストが、子どもが本を読むきっかけになれば幸いです。

令和4年3月

子どもの読書活動推進のための懇談会

・京都市小学校図書館研究会・京都市立中学校教育研究会図書館教育部会
・京都市PTA連絡協議会・京都市子ども文庫連絡会・京都府書店商業組合
・京都市私立幼稚園協会・京都市保育園連盟・こどもみらい館子育て図書館
・京都市教育委員会・(公財)京都市生涯学習振興財団 総務課企画係(京都市図書館担当)
問い合わせ先:(公財)京都市生涯学習振興財団 総務課企画係(京都市図書館担当)
電話 075-802-3145

*表示価格は税抜き本体価格です。

※ 表示価格は税抜き本体価格です。

ブックリスト 本のもり

幼児編



少し長いお話も、一緒に読んだ楽しい時間はかけがえのないものです。
この年代ならではの物語を。



★シリーズあり

あおくんときいろちゃん

レオ・レオニー作、藤田圭雄訳 至光社 1200円



あおくんときいろちゃんはとてもなかよし。
ある日、あんまりなかよしすぎてとうとうみどりになってしまいました。
こまったな…。

いたずらきかんしゃ ちゅうちゅう

バージニア・リー・バートン文／絵、むらおかはなこ訳 福音館書店 1200円



ちいさなきかんしゃちゅうちゅうは、人をのせたり荷物をはこんだりと大忙し。こんなことしているからはやくはしないんだと思い、ひとりでかってに走りだしました。

おおきなかぶ

A・トルストイ再話、内田莉莎子訳、佐藤忠良画 福音館書店 900円



おじいさんが、かぶのたねをまきました。
やがてそれは、おおきなかぶとなり…。

もりのなか



マリー・ホール・エッツ文／絵、まさきるりこ訳 福音館書店 1000円



一人で散歩にでかけたぼくは、森で動物たちに出会います。動物たちはぼくの散歩についてきて…。
いかにも動物がひそんでいそうな森を鉛筆だけで効果的に描いています。

どろんこハリー

ジーン・ジオン文、マーガレット・ブロイ・グレアム絵 わたなべしげお訳 福音館書店 1200円



ハリーはおふろがだいきらいな犬です。おふろのブラシをくわえてにげだしたときから、ハリーのぼうけん(?)がはじまります。

14ひきのあさごはん



いわむらかずお作 童心社 1200円



10匹の子どもねずみたちを中心に、三世代の大家族の日常生活を描くシリーズ作。
細かく描き込まれた14匹のねずみたちの世界に、大人も子どももひきこまれるでしょう。

からすのパンやさん



かこさとし文／絵 偕成社 1000円



からすのパンやさんに、4羽のあちゃんがうまれました。
やがて子どもたちがしごとをてつだうようになり、いろんなパンができるがります。
みんなの好きなパン、あるとうれしいね。

わたしのワンピース

にしまきかやこ 文／絵 こぐま社 1100円



まっ白なワンピースでおでかけしましょう。
お花のもよう、水玉もよう、いろいろ
なもようにつけていきます。
「わたしに あうかしら」

おやすみなさいコッコさん ★

片山健作／絵 福音館書店 900円



もう夜です。
おや、まだねむっていない子どもがいますよ。
「さあ、はやくおやすみ…」
お月さまはやさしい声でささやきます。

はじめてのおつかい

筒井頼子 作, 林明子 絵 福音館書店 900円

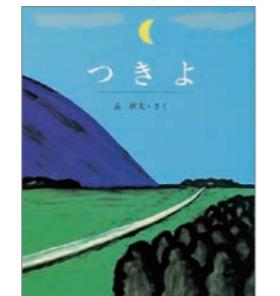


みいちゃんは、100えんだまを2つにぎりしめて、はじめてのおつかいにかけます。

うまくおかいものできるかな？

つきよ

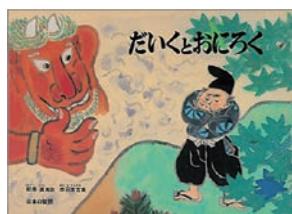
長新太 作 教育画劇 1300円



たぬきはかえりみち、つきを見て、おなかをきゅうっとつかんでしまいました。
だって、つきがやまとすべりおりてきましたから。

だいくとおにろく

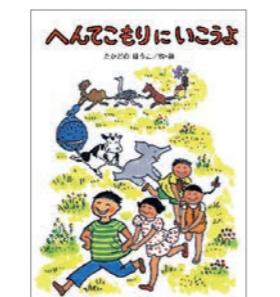
松居直 再話, 赤羽末吉 画 福音館書店 900円



流れのはやい大きな川。
大工がその川に橋をかけることになりました。
川の中から鬼がでてきて、「めだまをくれるなら橋をかけてやる」といいましたが…。

へんてこもりにいこうよ ★

たかどのほうこ 作／絵 偕成社 1000円



そらいろようちえんのうらに“へんてこもり”という森があります。
幼稚園をぬけ出した四人の子どもたちは、その森でふしぎなことに出会います。

しろくまちゃんのほっとけーき ★

わかやまけん 作 こぐま社 800円



くまのこどもがほっとけーきをつくります。
卵、牛乳、小麦粉、砂糖…
さあじょうずにはっとけーきがやけるかな?
いいにおいがしてきたらできあがり。

かぜのこもりうた

くどうなおこ 詩, あべ弘士 絵 童話屋 1500円



ぞうのぼうやがまいごになった。
不安がぼうやをつつみこむ。
そのとき、たしかにきいたんだ。
「だいじょうぶだよ」というかぜのうたを。

おやすみなさいコッコさん ★

片山健作／絵 福音館書店 900円

きんぎょが にげた

五味太郎 作 福音館書店 900円



きんぎょばちから飛びだした一匹のきんぎょ。
ページをめくるごとににげていく。
ことばのくり返しがリズムのようで、絵の中のきんぎょをさがす楽しさがいっぱい。

かしこいビル

ウィリアム・ニコルソン 作, まつおかきょうこ 訳
よしだしんいち 訳 ペンギン社 1000円



おばさんの家に招待されたメリー。だいじなものを持ち出します。
おいてきぱりをくらった人形のビル。
さてどうする?

きゅうりさんあぶないよ

スズキコージ 作 福音館書店 900円



あたまに星を付けたきゅうりさんが歩いていると、出会う人がそれぞれに“あぶないよ ねずみがいるから”といって、何かしら道具をきゅうりさんにもたせる。
そして、ねずみに会ったとき、きゅうりさんは…?

だれだか わかるかい? むしのかお

今森光彦 文／写真 福音館書店 900円



みんな自分のかおは、まいにちみているとおもうけれど…。虫のかおってよくみたことある?
ちょっとこわそうだけれど、いがいとかわいい虫がいるかも…。

いたずらこねこ

バーナディン・クック 文, レミイ・シャーリップ 絵
まさきるりこ 訳 福音館書店 1100円



好奇心旺盛なこねこが、ある日かめと鉢合わせ。こねこが手をだす。かめは瞬時にこうらの中へ身をかくす。こねこは…!?
軟らかい鉛筆画で、互いのやりとりがコミカルに描かれています。

ピーターのいす ★

エズラ＝ジャック＝キーツ 作, きじまはじめ 訳 偕成社 1200円



ピーターがまだ小さかったときにすわっていた“いす”。妹のためにピンクにぬりかえられそうになります。
いすを守るために必死のピーター。でも、自分のおしりが入らないことに気づきます。

はなをくんくん

ルース・クラウス 文, マーク・シーモント 絵, きじまはじめ 訳
福音館書店 1100円



森の生きものたちが、冬の間、眠りつづけていた。
そんなある日、何だか変だよ。
みんな目をさましていっせいに“はなをくんくん”
飛びだして見つけたものは?
期待と想像力がふくらんでゆく。

めっきらもっきらどおんどん

長谷川摂子 作, ふりやなな 画 福音館書店 900円



「ちんぷくまんぷく…めっきらもっきらどおんどん」
大声でたらめの歌をうたったら、木のあなにすいこまれて、ついたところは夜の山。
そこでかんたが出会ったものは…。